

株式会社 Life Chain



「商品の安全性＝動物実験で解決」

その概念に終止符を



目次

- ①企業理念
- ②問題定義・きっかけ
- ③現状分析
- ④企画内容
- ⑤活動報告
- ⑥プレゼンテーションを終えて

① 企業理念

「商品の安全性＝動物実験で解決」

その概念に終止符を

～私たちは商品開発において生き物を犠牲にしない
日本社会を目指します～

動物実験を経ていると聞けば多くの方が安心感を抱くのかも
しません。しかし、実験を行ったとしても100%人間に対し
て安全だと断定することはできず、他にも商品の安全性を確
認できる方法は開発されています。



②問題定義・きっかけ

皆さんが使っているその商品、
必要のない動物実験によって
罪のない動物達が犠牲になっているかもしれません。

皆さんは動物実験という言葉を知っていますか？

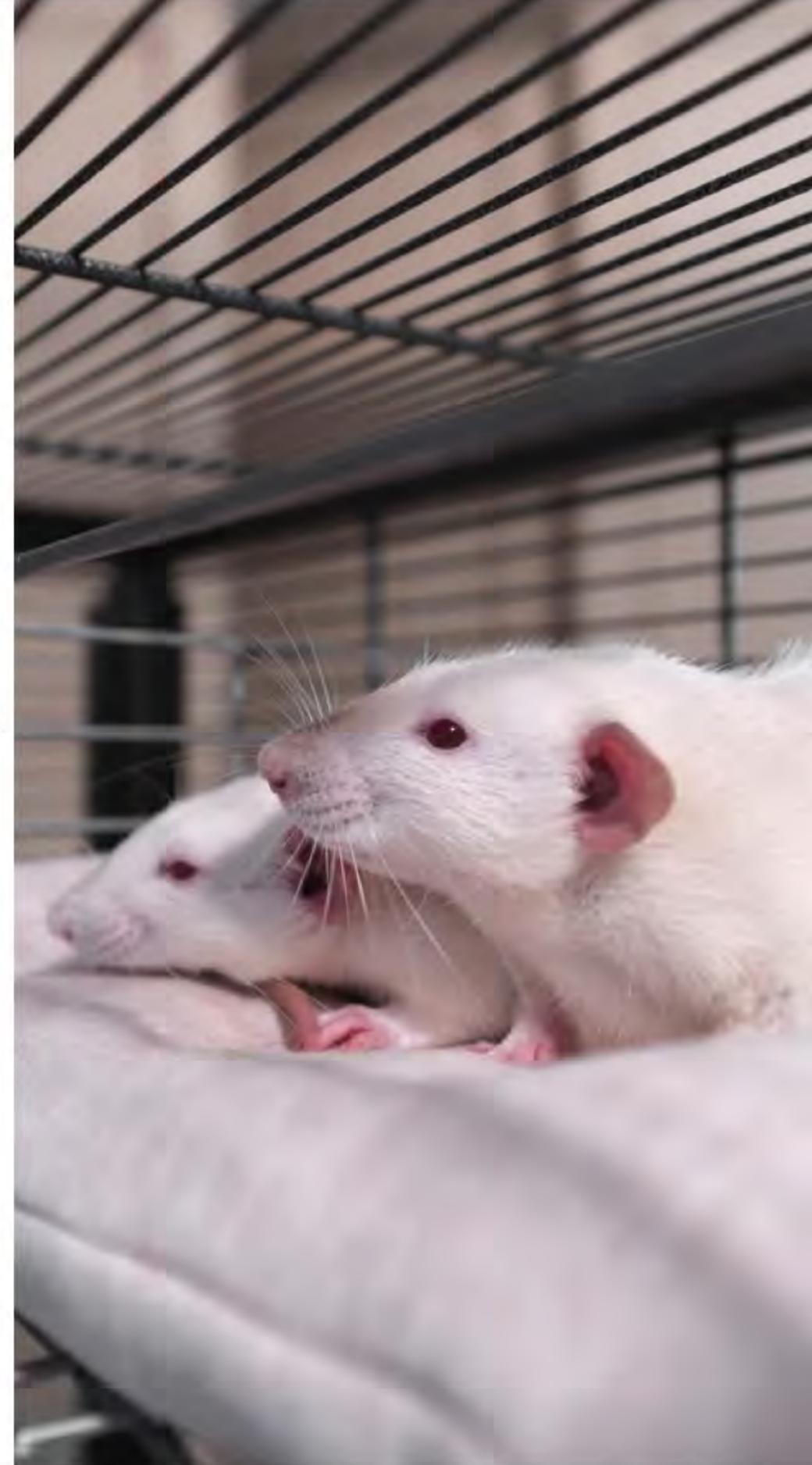
動物実験とは人間の使う商品の安全性を、動物で実験することで確認するというものです。

しかし安全性を確認するツールは他にも様々あります。

それなのに、化粧品、付箋、トイレトーパー、シャンプー、日焼け止め、、、

皆さんの身近にある商品は

必要のない動物実験によって罪のない動物達がたくさん犠牲になっています。



なぜ、「動物実験」をテーマにしたのか。

私達は4月下旬の授業で企業のテーマを決めるとなった際にたくさん候補があった中、1番多かった意見が『化粧品』でした。

しかし後々商品売るとなったら商品化が難しいと考え却下となってしまいました。

そこで、化粧品のことを調べていくうちに『動物実験』の存在に気付き興味を持ち始め、ラルフの動画に出会いました。

それは、アメリカの『THE HUMANE SOCIETY』という団体が出した動画で、

動物実験の実験台である「ラルフ」の研究所での日常を再現したドキュメンタリー短編映画です。

ラルフは可愛くて陽気なうさぎです。しかし右目は見えず、右耳はキーンと耳鳴りがして、歯も、背中も、実験台にされてしまったことで、痛みと支障があります。

"口紅や制汗剤が、たった一人でも「安全だ」と思い込ませることができるのであれば、僕の痛み苦しみなんてお構いなしに、人々の為だから、と実験台にされるんだ。"

上の言葉はアニメ内でラルフが語っているセリフです。また、

"賢い人間の為だから、僕達うさぎは犠牲をいとわないよ。
だってそれが仕事だし、それがうさぎを幸せにすることなんだからね♪"

とアメリカンジョーク混じりの軽いノリで陽気に語られています。

これを見た3C生徒の半分は動物実験についてあまり知らなかったため、驚いていました。そのためこの動物実験をテーマとし、1人でも多くの人に動物実験の存在を知ってもらおうと思い、このテーマが決まりました。



検索🔍：ラルフを救え

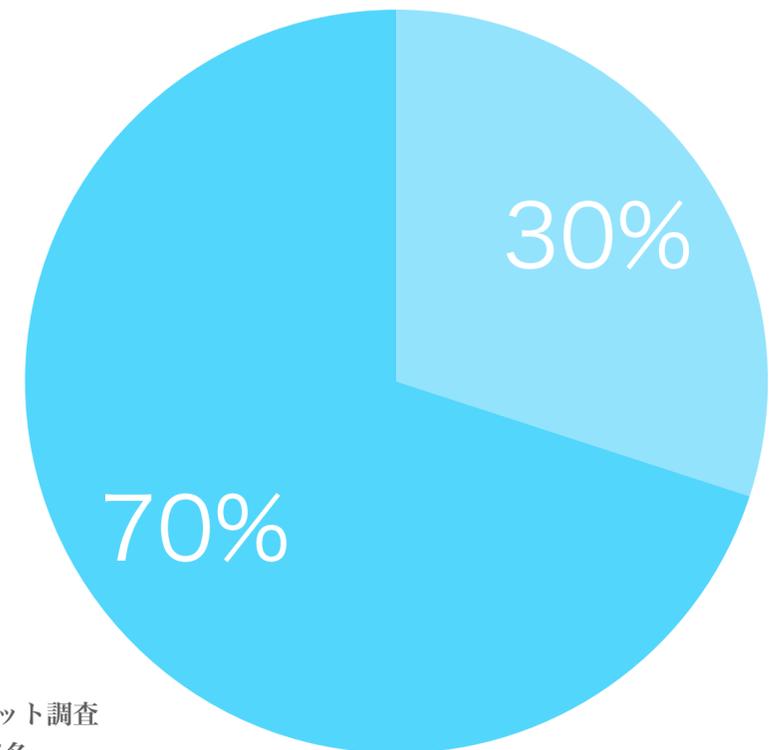
③日本の動物実験の現状分析

国	EU (※1)	アメリカ (※2)	オーストラリア (ビクトリア州)(※3)	日本 (※4)	韓国
実験者	許認可	(訓練義務)	登録	なし	(要件記載)
実験施設	許認可 (機関単位)	登録	免許	なし	登録
実験計画 (※5)	許認可	あり	あり	なし	あり
繁殖・販売業者	許認可	免許	免許	なし	登録
外部査察	あり	あり	あり	なし	あり
委員会 (※6)	あり	あり	あり	なし	あり
教育・訓練	あり	あり	あり	なし	あり
記録	あり	あり	あり	なし	あり
罰則	あり	あり	あり	なし	あり

NPO法人 地球生物会議(ALIVE)より

この画像は日本と海外の動物実験の規制について表でまとめたものです。
 これを見ると日本の動物実験に対する意識の低さが一目瞭然です。
 EUやアメリカでは、施設の登録、査察等が義務になっており、違反が見つければ罰則があるのに対し、日本では実態を把握するシステムが無く、実験施設の場所や年間どのくらいの動物が実験に使われているかといった統計が一切出てきません。
 中には雑居ビルの一室で動物実験が行われたという例もあります。

右のグラフはラッシュジャパンによる動物実験の知名度アンケートです。
 これを見ると知っているとした人は男女3,355名のうち30%しか知られていないことが分かります。
 それほど動物実験は3Cのクラス内だけではなく、世間でも知名度がかなり低くなっています。



実施主体:株式会社ラッシュジャパン
 調査時期:2013年
 調査方法:民間会社によるインターネット調査
 調査対象:15歳から69歳の男女3,355名



ディベート

議題：動物実験に賛成か、反対か

私たちはこの動物実験を廃止するべきと考えるグループと、廃止しないべきと考えるグループに分かれてディベートを行い、それぞれの立場になって考え、調査をすることにより動物実験への理解を深めることにしました。

1.動物実験を廃止するべきと 考えたグループが調査した事

- ・世界の20%の国は動物実験を禁止している
- ・人間と動物の種差で、正確なデータと言いきれない
- ・動物実験の代わりになるのものは存在している
- ・動物実験をしていなくても売れている会社はある
- ・多くの医学者が動物実験に意味が無いと言っている

2.動物実験は廃止しないべきと 考えたグループが調査したこと

- ・お客さんが安心して売り上げが上がる
- ・人間で実験が出来るかと言われればそれは難しい
- ・人間と似ているから信憑性が高い
- ・複数回繰り返して実験出来るから安く早く実験が出来る
- ・人間に入ると危険な薬品でも実験が出来る

1.2より動物実験の現状の1番の問題は、

「商品の安全性＝動物実験で解決できる」

という概念が多くの人にあること

だとわかりました。

③企画内容

そこで私たちは(株)Life Chain を設立し、Any。 という企画を提案します。

会社名 Life Chain

Life で人間の生活・動物の命、Chainでその二つを繋げる 鎖 という意味です。

意味は人間の生活と動物の命の繋がりを意識し、
共栄していこうという理想を持った事により名付けられました。

商品の安全性を動物実験で解決という概念に終止符を打つ為に、
私たちは商品開発において生き物を犠牲にしない日本社会を目指します。

企画名 Any。

Any。で「あにまる」と読みます。

「Any」は、「not~anymore」でこれ以上しないという意味

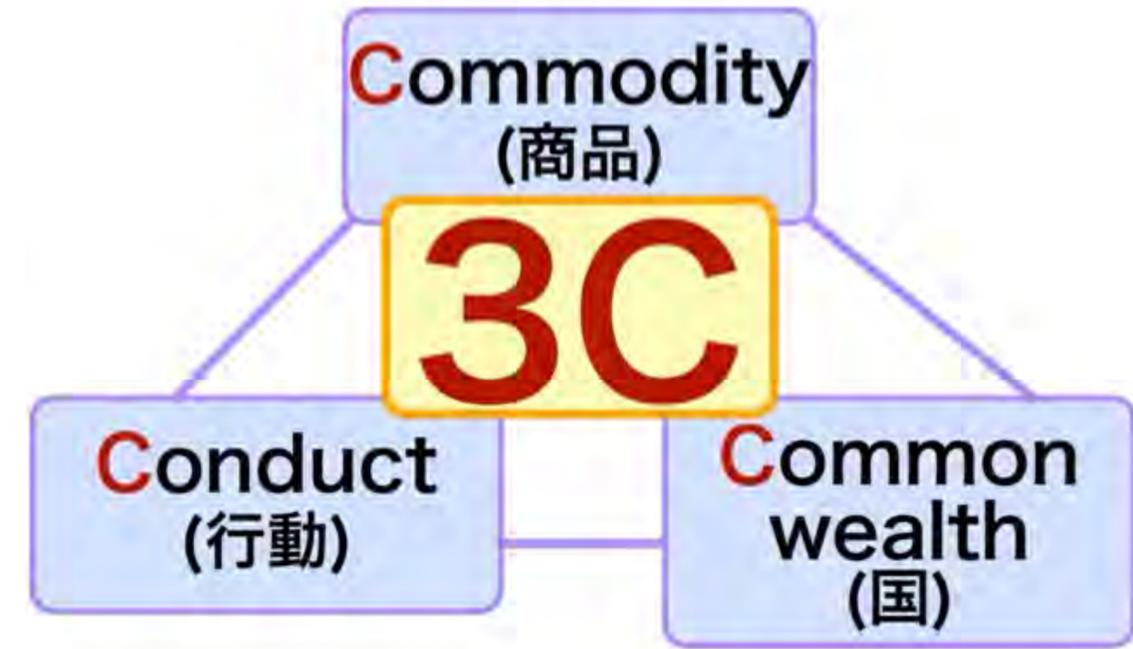
「。」で「商品の安全性=動物実験で解決」という概念に終止符を打つ

ということから由来しており、

日本の消費者に動物実験について広め、理解を深めていきたいと思っています。

3C

私たちの活動の基盤となるプロジェクト通称スリーシー。
このプロジェクトでは、**3C**独自の考えた**3つの観点**である、
「Commodity」「Conduct」「Commonwealth」
から見た動物実験の現状を知り、その解決策を発信します。



Commodity(商品)

身近にある動物実験をしている
商品を知る。

お客様が今後、商品を選ぶ際に
「動物実験をしているか」を
考えながら選ぶよう
意識を改革する

Conduct(行動)

私たちでも簡単にできる
動物実験について知ってもらう
取り組みを知る。

SNSやサイトを用いて
情報を発信する

Commonwealth(国)

国が動物実験に対して
どのように考えているのかを
知る。

声を上げる大切さを
感じてもらう。

当日販売予定の商品

これらは商品販売の際、動物実験を行っていない会社、「松山油脂」様の商品です。



マザーソープ

ラベンダー・グレープフルーツ

400円



ハンドクリーム

ラベンダー・グレープフルーツ

300円



バスソルト
ラベンダー
200円

バスシュガー
レモングラス
200円



ハンドソープ(250ml)

ラベンダー・グレープフルーツ・ユーカリ

700円

今回私たちは、前ページの4種類の商品を販売する予定となっております。
理由としては、動物実験がされている商品で代表的な水回りのもの、そして美容品を、
動物実験されていないものに変えて使っていただくことで、助かる動物がいることを
身近に感じてほしいという思いです。

今回販売する商品をご購入頂き、使って頂くことで、動物実験をしていなくても
安全に使用できる商品がある、という事を
お客様ご自身の目で確かめていただけたら幸いです。

また、私たちは利益の3割を
JAVA (NPO法人 動物実験の廃止を求める会)に寄付します。

JAVAとは、1986年に設立された非営利の市民団体です。
動物実験の廃止を求める運動を中心に、動物実験を行っている化粧品会社に動物実験の廃止を求める、
海外の動物保護団体と協力して共同キャンペーンや署名活動を行う等で動物の権利擁護を訴え、世界各
国の動物保護団体と協力しながら実践的な活動を展開しています。

その為、自社の商品をご購入頂くと、動物実験を減らすということに協力できます。

⑤これまでの活動内容報告

- ・4月下旬から企業のテーマを考え始める
→5月上旬にテーマを「動物実験」に決定
- ・5月中旬、企業理念を「商品の安全性＝動物実験で解決」その概念に終止符を
～私たちは商品開発において生き物を犠牲にしない日本社会を目指します～ に決定
- ・同時期それと共に協力していただく企業を「松山油脂」様に決定
- ・6月上旬、松山油脂様へのzoom取材経て、商品の値段等の相談
- ・6月下旬、松山油脂様の工場見学で商品を実際見たり、試供品を
頂いてクラスで香り等を見て販売商品を決定
- ・6月末、起業体験プレゼン



⑥起業体験プレゼンより

順位

私たちのクラスは16社中、総合5位という結果を頂きました。

内訳：(各項目104点満点)

理念性：70点

貢献性：67点

チャレンジ性：61点

事業性：52点

実行性：48点

講評

必要な動物実験と不必要な動物実験の**違いが不明**だった。

企業理念と商品との繋がりを明確にするべき

寄付したことをどのように**購入者に示す**のかが不明だが

頂いた質問

Q:この会社のみにある**独自性**は何か。

A:私たちの会社のように動物実験に働きかけている会社の本部は全て海外の会社であり、現在日本が本部の会社で動物実験させないことを全面に出している会社はありません。

その点で、範囲を国内とした時に独自性があると考えております。

起業体験プレゼンより、今後の企業戦略

今回、講評をいただいて実効性が圧倒的に欠けているということに気づくことができました

→今後、「企業理念と商品とのつながり」「動物実験を行う必要のない商品の定義」「この企画がターゲットに与える利益」など、さまざまな視点から動物実験という問題について考え、唯一無二の会社を目指します。

取締役より

今回の結果、さらに他社のプレゼンを受け、弊社の不足している部分を見つけることができたので、それを分析し社員一同さらに改善し理念達成を目指して努めていきます。次回のIRレポートでプレゼン結果の分析を掲載します！

社長より

今回社長に立候補した理由

今年は何事にも「挑戦」してみる年だと決めていたからです！今まで何も挑戦できていない自分が不甲斐なく感じ今年はそんな自分を変えたいと思い、その第一歩として入学当初憧れだった社長に立候補させて頂きました。

社長になって大変だったこと・楽しかったこと

仕事量の多さについていくのが大変でした。想像していた倍以上の忙しさに加えて提出物、スケジュール、会社のこと等考えるべきことが多すぎて心が折れそうになったこともありましたが、みんなが支えてくれて一つの会社を作り上げていくことがとても楽しかったです。

自分の会社の強み・来場者の方々へ

皆さんは私達の生活の安全性を保障するために、日々犠牲になってる動物たちの存在を知っていますか？弊社は「失われる必要のない動物たちの命」を守るために『「商品の安全性＝動物実験で確認」という概念を無くそう』という企業理念をもとに活動をしています。身近な問題なのに知らされていない現状を知っていただければと思います。ぜひお越しく下さい！

広報長より

今回、広報長として立候補したのは、クラスの取締役の熱気に圧倒されたからです。

私は当初、

ギリギリまで広報長に立候補するか悩みましたが、このクラスは取締役や役職に立候補する人が多く、文化祭にすごく積極的な人が沢山いて、各役職の立候補者の決意表明の熱気に圧倒されて私も貢献したいと思いました。

今回、今までクラスでやってきたことを精一杯来場者の皆様にお伝えできるようこのIRレポートを書きました。このレポートで少しでも「動物実験」に興味を持って頂き、当日会社に足を運んで頂けたら嬉しいです。

最後に、皆様にこの日本の現状を知って頂き、より多くの方の商品の安全性＝動物実験で解決というその概念に終止符を打つことが出来ましたら幸いです。

是非、お待ちしております！



Life Chain

失われる必要のない命を、守る。